

# 福井市

## 支援が必要な児童のための ハンドブック



最新情報

QRコード

福井市障がい者自立支援協議会  
こども部会

※ここでのいう児童とは、0歳から18歳（高校卒業）までを指します。

## 目次

### 1. はじめに

- (1) ハンドブックの活用について
- (2) ライフステージと主なサービス・機関
- (3) 発達障がいについて

### 2. 障がい児通所支援について

- (1) 対象となる児童とは
- (2) 障がい児通所支援の種類と内容（内容・対象者）
- (3) 障がい児通所支援を利用するには？
- (4) 利用料（自己負担金）
- (5) サービス利用開始後の手続きについて
- (6) 留意事項

### 3. 障がい児入所支援について

### 4. 教育について

- (1) 就学について
- (2) 児童館（放課後児童会）、放課後児童クラブ
- (3) 高校・特別支援学校（高等部）卒業後の進路・移行支援会議
- (4) 子育てファイルふくいっこの活用について
- (5) 就学にあたっての支援制度
- (6) 不登校について
- (7) ひきこもりについて

### 5. その他のサービスや相談窓口について

- (1) 障害福祉サービス（居宅介護、短期入所等）
- (2) 地域生活支援事業（地域活動支援センター、日中一時支援、等）
- (3) 手帳（身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者福祉手帳）
- (4) 各種手当（特別児童扶養手当、障害児福祉手当、重症心身障害児（者）福祉手当）
- (5) 各種医療（こども医療、ひとり親医療、重度医療、自立支援医療、小児慢性特定疾患）
- (6) 母子保健（ふくっこ、ことばの教室）
- (7) 子育て支援（保育園の入園、ショートステイ、トワイライトステイ、）
- (8) 各種相談窓口

### 6. 18歳以降の支援について

- (1) 障害福祉サービス
  - ① 介護給付（居宅介護、短期入所等）
  - ② 訓練等給付（就労移行支援、就労継続支援A型・B型等）
  - ③ 地域生活支援事業（移動支援、日中一時支援、地域活動支援センター）
- (2) 障害年金
- (3) 就労に向けた相談窓口
  - ① 障害者就業・生活支援センター
  - ② ハローワーク
  - ③ 障害者職業センター

## 1. はじめに

### (1) ハンドブックの活用について

親御さんにとってお子さんの成長・発達はとても嬉しいことです。

ただ、場合によっては、お子さんに関してさまざまな支援を受けなければならないことがあります。

このハンドブックは、支援が必要な児童がその子に応じた適切な支援が受けられるよう、障がい児通所支援や教育を中心に支援制度や相談機関・関係機関をまとめたものです。

親御さん・関係機関の方が一人で悩まず、ハンドブックを活用していただけたら幸いです。

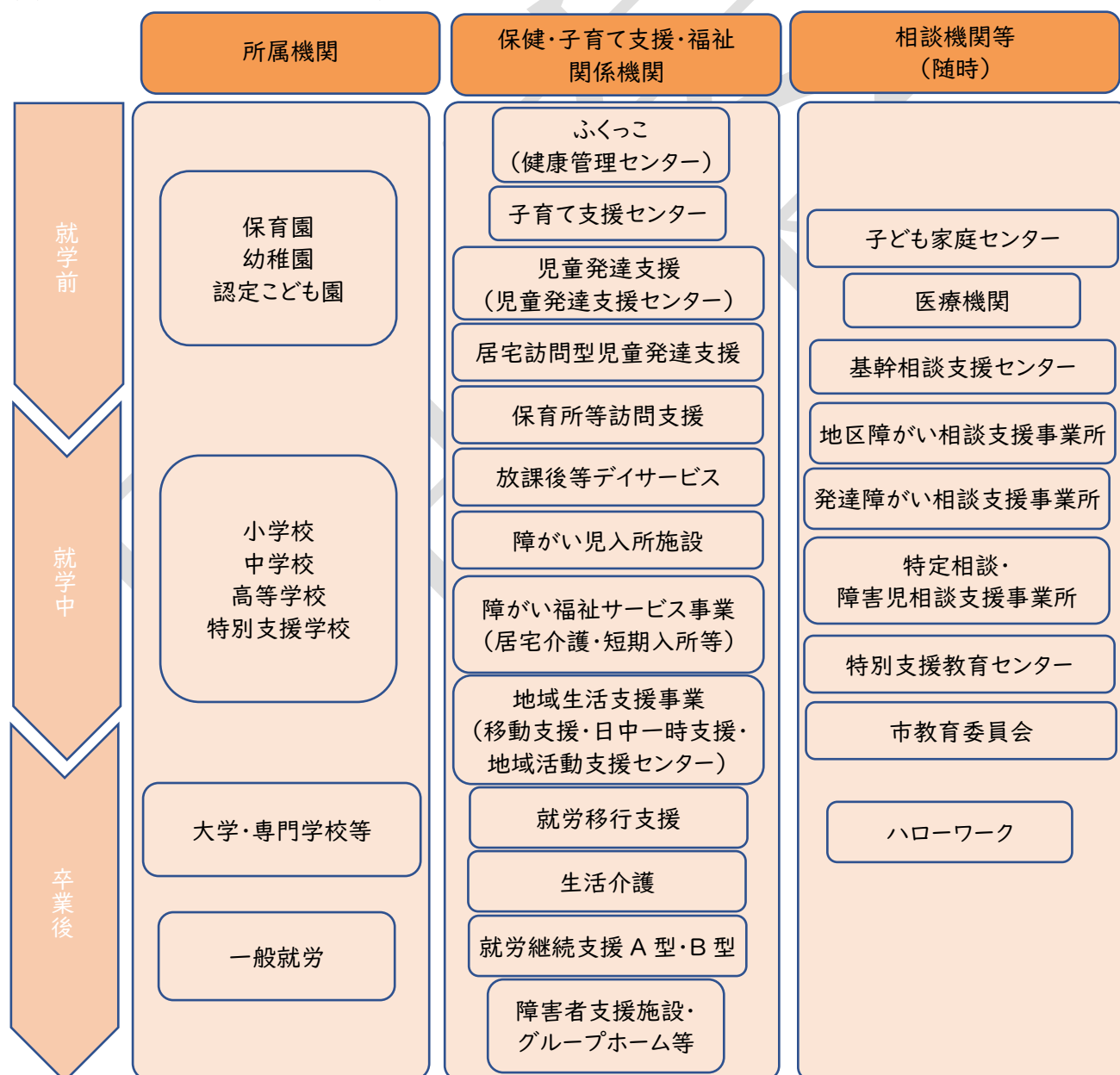
なお、QRコードやURLのリンク切れとなっている場合があります。

内容は日々更新していきますので、最新情報は右にあるQRコードからご確認ください。

QR

コード

### (2) ライフステージと主なサービス・機関



(3) 発達障がいについて

<参考資料I>発達や育ちの相談窓口のご案内

【参考 URL】

ふくいっ子 みんなちがって みんないい(スクラムふくい)

[http://scrum-fukui.com/pdf2022/minna\\_leaf2022.pdf](http://scrum-fukui.com/pdf2022/minna_leaf2022.pdf)

社会で自立するためのサポート(スクラムふくい)

[http://scrum-fukui.com/pdf2022/jiritsu\\_leaf2022.pdf](http://scrum-fukui.com/pdf2022/jiritsu_leaf2022.pdf)

お孫さんにこんなことはありませんか?(福井医療大学 言語聴覚学専攻 作成)

[https://www.fukui-hsu.ac.jp/wp-](https://www.fukui-hsu.ac.jp/wp-content/uploads/2019/11/4cce66a9d13024714e07036e7bc7ae3e.pdf)

[content/uploads/2019/11/4cce66a9d13024714e07036e7bc7ae3e.pdf](https://www.fukui-hsu.ac.jp/wp-content/uploads/2019/11/4cce66a9d13024714e07036e7bc7ae3e.pdf)

発達障害 理解編 動画 (福井医療大学 言語聴覚学専攻 作成)

<https://www.youtube.com/watch?v=UEE2volJmyk>

発達障害 理解編 動画 (福井医療大学 言語聴覚学専攻 作成)

<https://www.youtube.com/watch?v=sR-iu36Jfjk>

## 2. 障がい児通所支援について

### (1) 対象となる児童とは

以下のいずれかの条件を満たす0～18歳（原則として高校卒業年度の3月31日まで）

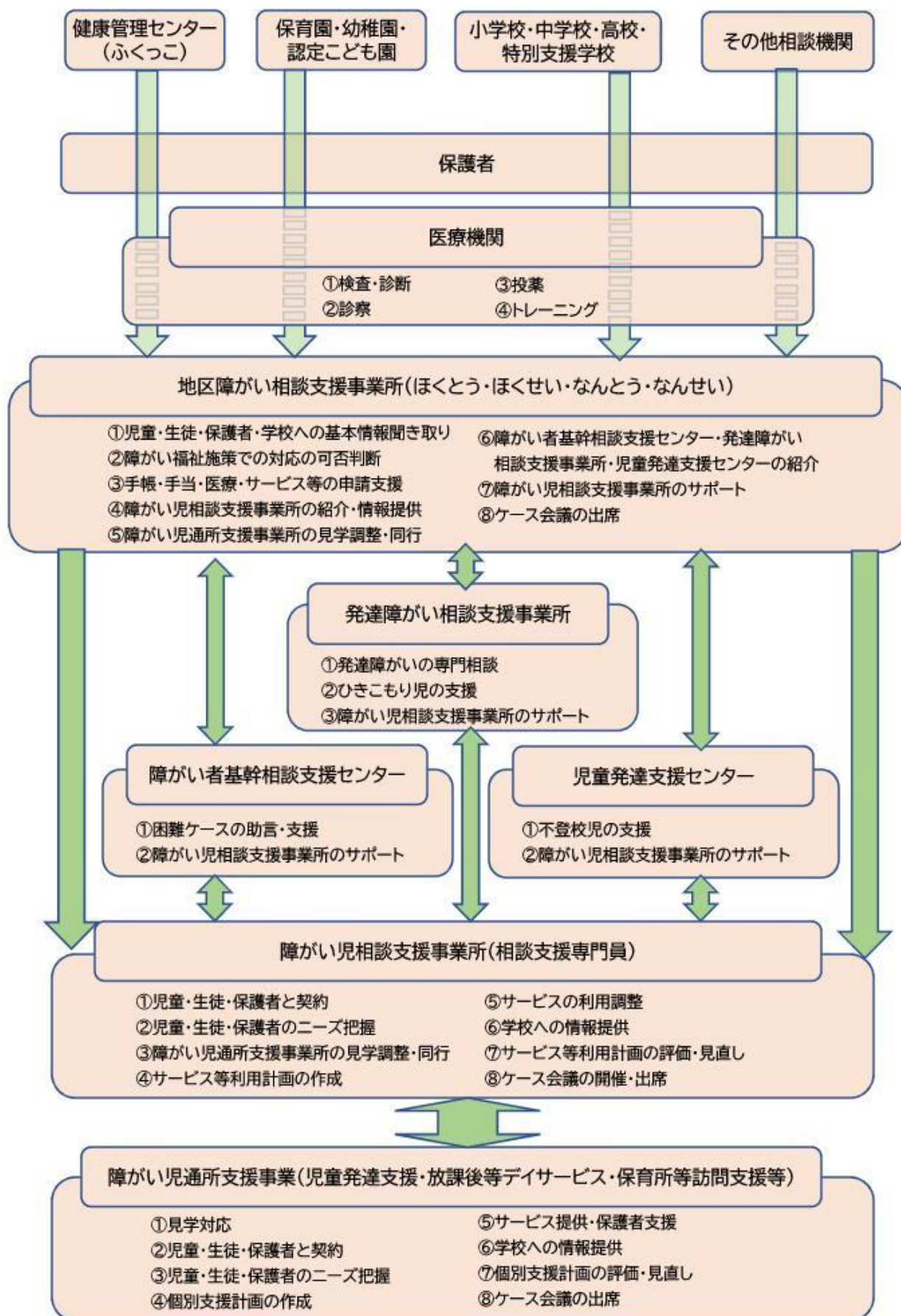
対 象 要 件
・身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者手帳を所持している方(P 参照)
・特別児童扶養手当を利用している方(P 参照)
・医師の診断書もしくは意見書がある方
・その他福井市が必要と認めた方

### (2) 障がい児通所支援の種類と内容（内容・対象者）

種 類	対 象	内 容
児童発達支援	発達に支援が必要な未就学児	日常生活に必要な動作や知識を指導したり、集団生活に必要な適応訓練を行う。
医療型児童発達支援	上肢・下肢または体幹に障害がある未就学児	施設において肢体不自由児に児童発達支援及び治療を行う。
居宅訪問型児童発達支援	重度の障害等で外出が著しく困難な児童	居宅を訪問し、日常生活における基本的な動作の指導、生活能力の向上のための必要な訓練を行う。
放課後等デイサービス	発達に支援が必要な就学児	授業の終了後又は夏休み等の休業日に、生活能力向上のための訓練、地域社会との交流促進などを行う。
保育所等訪問支援	発達に支援が必要な児童	支援員が保育所、幼稚園、学校等に訪問し、集団生活への適応のための専門的な支援等を行う。

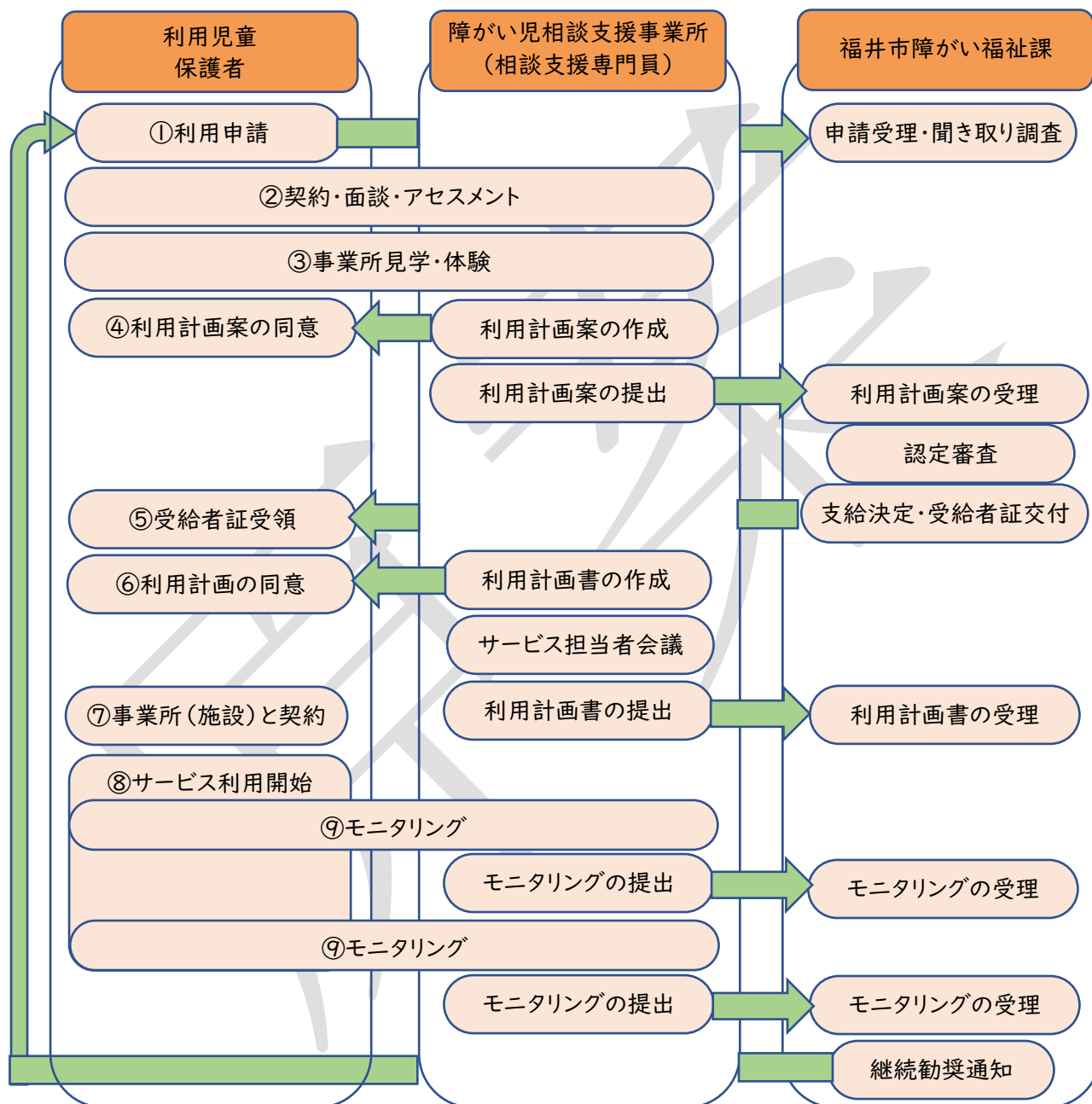
(3) 障がい児通所支援を利用するには？

①流れ



## ②障がい児相談支援（相談支援専門員）の役割について

障がい児通所支援事業所や行政（市障がい福祉課）と利用児童・保護者の橋渡し役です。障がい児通所支援事業を利用するにあたっては、利用児童の心身の状況や環境、利用児童または保護者の意向などを踏まえて『障がい児支援利用計画案』を作成したり、計画が適切であるかを評価（モニタリング）をしてくれます。



①利用申請・・・

②契約・面談・アセスメント・・・

③事業所見学・・・

④利用計画案の同意・・・

⑤受給者証受領・・・

⑥利用計画の同意…

⑦事業所（施設）と契約…

⑧サービス利用開始…

⑨モニタリング

目的：サービス等の利用状況の検証と計画の見直しを行う。

内容：障がい児相談支援事業所の相談支援専門員がご家庭や障がい児通所支援事業所を訪問・面談を行い、利用計画の評価を行い、必要に応じてサービス等利用計画の見直しを行う。

間隔：基本的には初回利用時は3か月毎、その後は6か月毎

（利用者の状況や利用しているサービスの内容等によって間隔は違う）

※例：誕生日が1月で5月から利用開始する場合

がモニタリング月

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
3か月毎									
6か月毎									

※障がい福祉サービスの有効期限の取扱い

- ・最大1年間を有効期限とする。
- ・基本的には利用児童の誕生日の月末日まで。
- ・6歳（年長）児については、就学前の3月31日まで。
- ・兄弟姉妹がサービスを利用している場合には、兄弟で同じ有効期限になる場合がある。

(4) 利用料(自己負担金)

① 利用料

(i) 利用者負担額 + (ii) 事業所ごとに定めた実費負担額

(i) 利用者負担額

サービス利用にかかる利用者負担額は、サービス提供に要した費用の1割(1回あたり1,000～2,500円程度)です。月当たりの負担額は世帯(※1)の所得に応じた負担上限月額までとなります。

区分	世帯の収入状況	負担上限月額
生活保護	生活保護受給世帯	0円
低所得	市町村民税非課税世帯	0円
一般1	市町村民税課税世帯(所得割28万円未満)(※2)	4,600円
一般2	上記以外(所得割28万円以上)	37,200円

※1 世帯は、原則として住民基本台帳の世帯。同一世帯員には、サービスを利用する児童の親が単身赴任当て別世帯である場合も含まれます。

※2 市民税所得割額は、支給期間の初月が①7～翌年3月の場合:当該年度、②4～6月の場合:前年度のものを確認します。

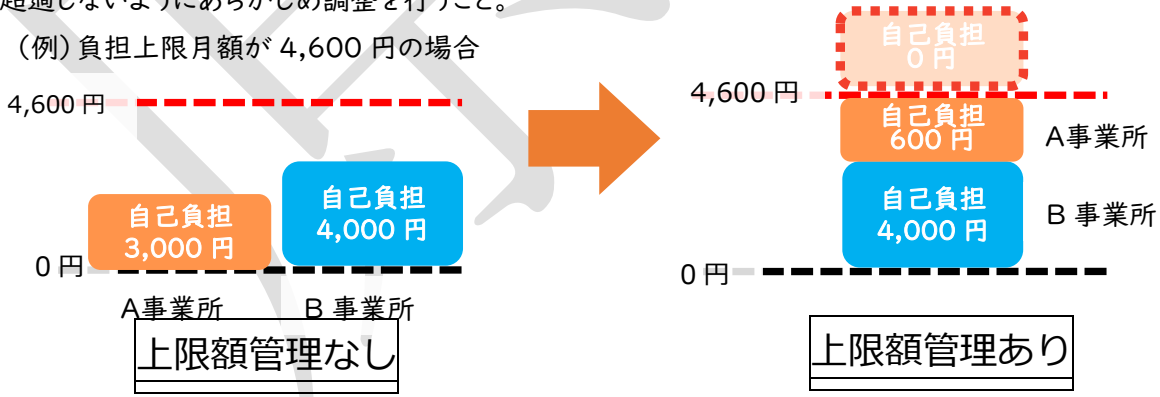
(ii) 実費負担

・おやつ代、教材費、外出先でかかる費用等

② 上限管理

複数の障害児通所支援事業所を利用する場合、各事業所での自己負担額の合計が負担上限月額を超過しないようにあらかじめ調整を行うこと。

(例) 負担上限月額が4,600円の場合



【手続きの流れ】

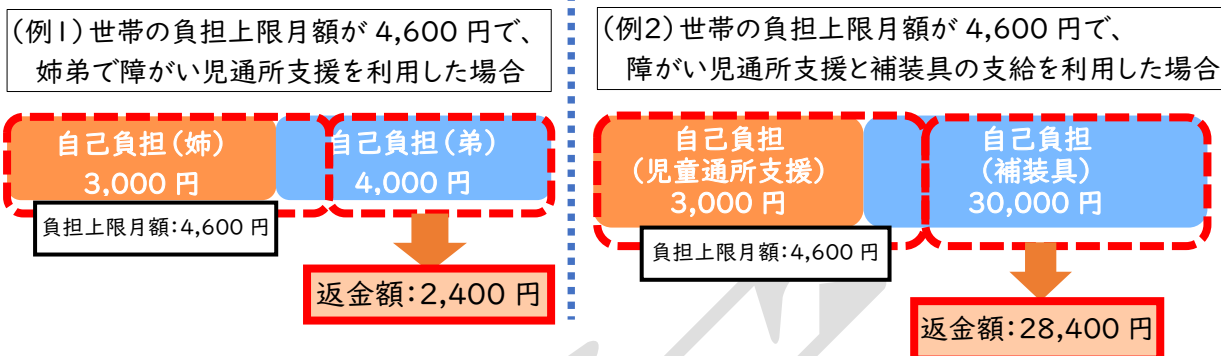
上限額を超えて利用者負担を支払うことがないように、事業所に上限管理を依頼し、『利用者負担上限管理事務依頼(変更)届出書』を記入し、市障がい福祉課に提出してください。

③ 無償化

満3歳になった後の最初の4月から小学校入学までの3年間、障がい児通所支援の利用者負担額が無償化されること。

#### ④高額障害福祉サービス

同じ世帯で一人もしくは複数の方が、障がい福祉サービス・障害児通所支援・補装具等を利用するなどし、1ヶ月の利用者負担額の合計が世帯の負担上限月額を超えたときに返金されること。



#### 【手続きの流れ】

- ①福井市障がい福祉課から該当する保護者宛てに申請書を郵送します。
- ②申請書が届いたら、ご記入いただき、領収書(原本)とともに、郵送または持参でご提出ください。  
※毎月ご提出いただいても、直近1年間分をまとめてご提出いただいても構いません。  
※1年以上前のものは申請できません。
- ③後日、福井市から指定口座に返金されます。

#### ⑤多子軽減

就学前の障害児通所支援利用児童について、兄または姉がおり、下記の①または②の条件を満たす世帯に対し、第2子以降の当該児童に係る利用料を軽減する制度。(放課後等デイサービスは対象外)

#### 【条件】

- ①就学前の障がい児通所支援利用児童のうち、兄または姉が保育所等に通う第2子以降の乳幼児
- ②市民税所得割合計額 77,101 円未満世帯)である場合は、通所給付決定保護者と生計を同じくする兄弟(就学児含む)の中で第2子以降の乳幼児

#### 【多子軽減適用後の利用者負担額】

(表1) 多子軽減措置適用後利用者負担額

	多子軽減措置	多子軽減措置適用後の利用者負担額
1	第2子軽減措置	障害児通所支援に係る総費用額の5/100
2	第3子以降軽減措置	0

(表2) 利用者負担上限月額

分類	利用者負担上限月額
市民税課税世帯(市民税所得割合計額28万円未満)	4,600円
市民税課税世帯(市民税所得割合計額28万円以上)	37,200円

※生活保護世帯もしくは市民税非課税世帯は利用者負担上限月額が0円のため多子軽減措置は適用されません。

#### (5) サービス利用開始後の手続きについて

利用開始後、下記に該当する場合は、受給者証の変更申請等が必要になる場合があります。相談支援専門員と話し合いを行い、速やかに市障がい福祉課で手続きをしてください。

手続きが必要な事項	必要な書類
・受給者証を更新する	・申請書2枚(通所・相談) ・受給者証 ・マイナンバーがわかるもの(利用児童分・保護者分)
・通所日数の変更・サービスの追加をする	
・受給者を変更する	
・市内間で転居する	
・サービスの利用を終了する	・受給者証
・市外へ転出する	

#### (6) 留意事項

- ・居宅介護・短期入所など障害福祉サービスを利用している場合、18歳になる月の翌月以降は『障害者』の扱いとなりますので、誕生日までに障害支援区分の認定調査を行う必要があります。詳細は、障がい児相談支援事業所の相談支援専門員にご確認ください。

#### Q&A

Q1. 児童発達支援や放課後等デイサービスは子どもを預かる場と思えばいいですか？

A1. 児童発達支援や放課後等デイサービスは療育を行う場所です。また、障がい児通所支援の有効期間は最大1年間となっており、1年後のゴールを目指した目標を相談支援専門員さんと一緒に立て、それに従って児童発達支援や放課後等デイサービスを利用することになります。目標が達成できるように、利用児童・保護者・障がい児相談支援事業所・園・学校・障がい児通所支援事業所が役割を明確にすることが重要です。

Q2. 保育園や幼稚園に在籍しながら児童発達支援を利用することはできますか？

A2. 可能です。児童発達支援を午前中、午後から保育園等という使い方をされる方や週1回だけ児童発達支援を利用される方などさまざまです。保育園等と児童発達支援の事業所を併用する場合、お子さんの特性に応じた一貫した支援が受けられるよう、保護者、相談支援専門員、保育園等、児童発達支援事業所が十分連携していくことが求められます。

Q3. 児童館・児童クラブに預けるよりも放課後等デイサービスの方が送迎をしてくれるところがあるし、長期休暇中も見てもらえるからいっぱい利用した方がいいのではないかな？

A3. 放課後等デイサービス事業所については、個別や小集団での療育の場です。放デイに多く通うことで児童館・児童クラブよりも手厚く支援してもらえるかもしれませんが、それが必ずしもよいわけではありません。住み慣れた地域や家庭の中でさまざまな経験や失敗をしながら学ぶことも大事な療育です。将来の生活を意識しながら、放課後等デイサービスで学んだことをどう地域や家庭で活かしていくか、保護者も利用児童と一緒に考えていけるといいですね。

Q4. 現在、障がい児通所支援を利用しているが、日数を増やすことができますか？

A4. 保育・教育・福祉・医療などを含めた生活の状況と保護者のニーズ、利用児童にとって過度の負担になら

ないよう配慮した上で必要な日数を増やすことは可能です。まず、相談支援専門員さんにご相談ください。

Q5. 複数の障がい児通所支援事業所を利用することはできますか？

A5. 可能です。例えば、福井市から発行する福祉サービス受給者証に『放課後等デイサービス15日／月』と記載がされていれば、その中で『A事業所：10日／月』『B事業所：5日／月』など分けて利用することは可能です。支援目標が達成できるよう、相談支援専門員さんとはよく相談して障がい児通所支援事業所と契約をしてください。ただし、1日に複数の障がい児通所支援事業所を利用することはできません。

Q6. 福井市の福祉サービス受給者証で市外の事業所を利用することはできますか？

A6. 居住地内の事業所に限らず、利用することができます。

Q7. 相談支援専門員さんに対して利用料を支払う必要はありますか？

A7. 支払う必要はありません。障がい児相談支援については、10割公費負担（市から相談支援事業所に支払うこと）になっています。相談支援専門員さんは、

Q8. 相談支援専門員さんとの相性がどうしても合わないのですが、変更してもらうことは可能ですか？

A8. 可能です。お住まいの地区の地区障がい相談支援事業所にご相談ください。

参考：県内の発達に関する医療機関（福井県小児科医会こどものこころ部会員）  
津田先生に確認……

### 3. 障がい児入所支援について

#### ①内容

障がいがある児童に対し、施設に入所しながら入浴や排せつ、食事の介護などの支援を行う。

#### ②県内の障がい児入所施設

・足羽学園・つくし園

#### ③利用負担金

・世帯の収入によって負担金が異なる。

#### ④利用方法

・福井県総合福祉相談所（児童相談所）に連絡する。



## 4. 教育について

### (1) 就学について

#### ① 就学先

お子さんや保護者の意見、専門家の意見、学校や地域の状況等を踏まえ、就学先を決定している。  
就学した後でも、お子さんの状況等により柔軟に移行することが可能である。

<p><u>通常学級</u></p> <p>通常学級においても、配慮を要する児童生徒のために、授業方法や教材を工夫して、わかりやすい授業を行っています。</p>	<p><u>通常学級＋通級による指導</u></p> <p>普段は、通常学級において授業を受け、学習上または生活の困難など特性に応じて、別の場で特別の支援を行います。</p>
<p><u>特別支援学級</u></p> <p>障がいの種別（知的・情緒）ごとに置かれる少人数の学級です。障がいのある児童生徒一人一人に応じた教育を行っています。</p>	<p><u>特別支援学校</u></p> <p>障がいの程度が比較的重い児童生徒を対象とし、障がいによる学習上または生活上の困難を克服し、自立を図るための教育を行います。</p>

#### ② 学びの場

	学校名	主な障がい種別								
		視	聴	肢	病・弱	知	言	情・自	学習	多動
特別支援学校	<a href="#">福井特別支援学校</a>			○						
	<a href="#">福井東特別支援学校</a>				○					
	<a href="#">福井南特別支援学校</a>					○				
	<a href="#">嶺北特別支援学校</a>					○				
	<a href="#">清水特別支援学校</a>					○				
	<a href="#">盲学校</a>	○								
	<a href="#">ろう学校</a>		○							
特別支援学級	各小中学校（※1）							○	○	○
適応指導教室	<a href="#">チャレンジ教室</a> （※2）							○	○	○

※1 各学校の特別支援教育コーディネーターにお問い合わせください。

※2 各学校の教育相談担当にお問い合わせください。

#### ③ 就学支援・学校での支援をする人たち

学校や地域にお子さんの就学を応援の方がいます。

職種	役割	配置				
		保	幼	小	中	高
特別支援教育 コーディネーター（特コ）	保護者の方からの相談を受けたり、関係機関との連絡調整を行う。 お子さんの就学に関して相談を希望する場合は、まず各園・学校の特別支援教育コーディネーターに相談する。	○	○	○	○	○
教育支援相談担当				○	○	

スクールカウンセラー (SC)	学校教育に関する心理の専門家として、カウンセリングを行う。			○	○	○
スクールソーシャルワーカー (SSW)	学校教育に関する福祉の専門家として、関係機関との連携・調整を行う。			○	○	○
特別支援教育センター				○	○	○
いきいきサポーター				○	○	○
ライフパートナー				○	○	
心のパートナー				○	○	

#### ④就学相談の流れ

特別な配慮を要し、特別支援学級（入級・通級）または、特別支援学校への就学を希望する場合及び通常学級を希望する場合の就学までの流れは以下の通りです。

時期		内容		
		通常学級	特別支援学級	特別支援学校
1歳半健診		健診時に健康管理センターへ相談(随時)		
3歳児健診		2歳児相談会	ことばの教室	きらきら教室
年中		保育園・幼稚園・認定こども園への相談(随時)		
年長	4月	教育相談調査票提出(保護者→園→市教委)		
	5月	市教育支援委員による園訪問		特別支援学校見学会
	6月	市教育支援委員会		県就学指導委員会
	7月	就学相談会		
	8月	移行支援説明会	特別支援学校面談	
	9月	就学相談(随時)		
	10月			
	11月	就学時健康診断		県就学指導委員会
	12月	就学相談(随時)		
	1月	入学通知書・入学案内送付		

	2月	移行支援(引き継ぎ)	移行支援会議
	3月		
	4月	入学	

⑤保育園・幼稚園・認定こども園から小学校(小学部)への移行支援会議  
教育委員会と相談中……

(2)児童館(放課後児童会)、放課後児童クラブ

1. 遊びにいこうよ みんなの児童館・児童クラブ

<http://www.fukuic-shakyo.jp/jidokan/>

2. 児童館

<http://www.city.fukui.lg.jp/fukusi/kosodate/hoikuen/jidoiti.html>

3. 児童クラブ

<http://www.city.fukui.lg.jp/fukusi/kosodate/kenzen/jidouclub.html>

(3)高校・特別支援学校(高等部)卒業後の進路・移行支援会議

(就労移行支援、就労継続支援、生活介護の利用の流れ)

・就労支援事業所のしおりへのリンク(QRコード)

[http://www.city.fukui.lg.jp/fukusi/sfukusi/sonota/p01117\\_d/fil/guidebookR4-9.pdf](http://www.city.fukui.lg.jp/fukusi/sfukusi/sonota/p01117_d/fil/guidebookR4-9.pdf)

(4)子育てファイルふくいっこの活用について

<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/shougai/fukuikko-file.html>



## (5) 就学にあたっての支援制度

### ①就学援助制度

#### 1. 就学援助とは

義務教育が円滑に受けられるように、経済的な理由により就学が困難な児童生徒の保護者に対し、学校で必要となる費用の一部を援助する就学援助制度を実施しています。

#### 2. 対象者

原則、福井市に住民登録があり市内の小中学校に通学する児童生徒の保護者のうち、

- ・要保護者：生活保護を受けている者
- ・準要保護者：生活保護に準ずる程度に困窮していると福井市教育委員会が認める者  
(福井市では、世帯の年間所得合計額が生活保護基準額の1.3倍未満)

#### 3. 支給内容

学用品費(定額)	通学費(遠距離通学者のみ)
新入学学用品費(定額)(※1)	学校給食費
校外活動費(限度額あり)	医療費、通院費(距離に制限あり)(※2)
修学旅行費(対象費目に制限あり)	PTA会費(限度額あり)
体育実技用具費(用具に限定あり)	

※1 新入学学用品費の入学前支給について詳しくはホームページをご確認ください。

※2 医療費について詳しくはホームページをご確認ください。

※3 要保護者(生活保護を受けている者)は、修学旅行費・医療費のみが支給されます。

※4 支給額については、福井市学校教育課までお問い合わせください。

#### 4. 支給時期

- ・支給時期は、年に3回で、7月・12月・3月の長期休業前に支給します。
- ・支給方法は、保護者の指定する口座に直接振り込むか、学校から保護者への現金手渡しです。

#### 5. 申請方法・提出書類

- ・各学校へ提出してください。申請書様式は、学校教育課窓口または各学校でお渡ししています。
- ・対象者によって書類が異なります。詳細はホームページをご確認ください。

#### 6. 留意事項

- ・学校に申請した月から援助の対象となります。(月割りで支給します。)
- ・年度途中に市外に転出した場合や婚姻・同居等により家族構成が変わった場合は、援助費を返還していただく場合がありますのでご了承ください。
- ・特別の事由により経済状況の急変し、就学援助を受給している方は、経済状況が改善した場合、在籍している学校または学校教育課にご連絡ください。
- ・虚偽・不正の申請をして認定された場合や援助費を目的外に使用した場合は、認定を取り消し援助費の返還をしていただくことになりますのでご注意ください。

#### 7. その他

詳細は 福井市 就学援助 検索

<http://www.city.fukui.lg.jp/kyoiku/school/school/syugakuenzyo.html>

## ②特別支援教育就学奨励費

### 1. 特別支援教育就学奨励費とは

福井市小中学校の特別支援学級等に就学している児童生徒の保護者に対して、経済的負担を軽減するため、就学に必要な経費の一部を補助しています。

### 2. 対象者

福井市立小中学校に就学する児童生徒の保護者のうち、児童生徒が次のいずれかに該当する者

- ①特別支援学級に在籍している
- ②学校教育法施行令第22条の3に定める障害の程度に該当し、通常の学級に通学している
- ③学校教育法施行規則第140条の規定により、障害に応じた特別の指導を受けている（通級）

### 3. 支給内容

学用品・通学用品購入費	通学費
新入学児童生徒学用品・通学用品購入費	職場実習交通費（中学校のみ）
校外活動費（宿泊を伴わないもの）	交流学习交通費
校外活動費（宿泊を伴うもの）	体育実技用具費
修学旅行費	学校給食費

※世帯所得や就学援助の受給の有無によって支給内容は異なります。

※支給費目によって、補助上限額や補助割合が異なります。

※ 通級は、通級指導の通学に係る交通費のみ対象となります。

### 4. 支給時期

- ・支給は年に1回で、3月の長期休業前に支給します。
- ・支給方法は、学校から保護者への現金手渡しです。

### 5. 申請方法・提出書類

各学校へお問い合わせください。

### 6. 留意事項

- ・特別支援教育就学奨励費は実費支給のため、学用品・通学用品購入費の補助を受けるためには、レシート等の提出が必要です。
- ・4月以降に購入したレシートは、学校から提出依頼（12月頃）があるまで、各自保管してください。

### 7. その他

詳細は 福井市 特別支援教育就学奨励費

検索

<http://www.city.fukui.lg.jp/kyoiku/school/school/syugakusyoreihi.html>

## (6) 不登校について

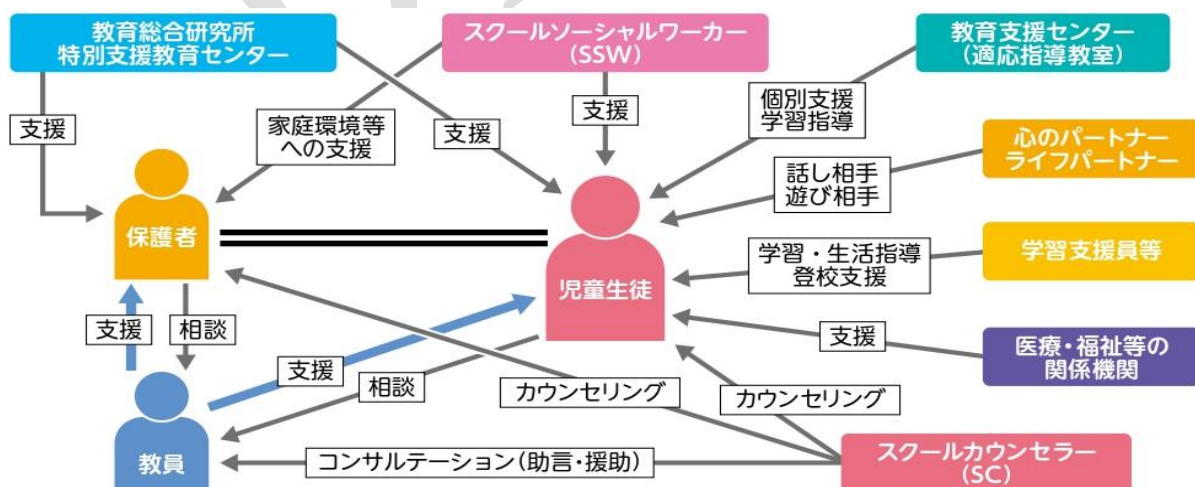
### ①発達に応じた系統的・継続的な取組み（福井県不登校対策指針より）

発達段階		小 学 校		中 学 校		高等学校
I 未然防止	対応の柱	小学1～3年生	小学4～6年生	中学1年生	中学2～3年生	
	居場所づくり	「居場所づくり」(教師が責任をもって行う)……安心してすごせる場、安らぎを感じられる場 「絆づくり」(子どもが主体となっていく)……互いに認め合える場、互いに励まし、支え合える場				
	授業改善	A 学ぶ喜びを生み出す授業づくり	基礎・基本の充実	習熟の程度に応じたわかる授業の推進	学業へのつまづきに対する早期対応	
	人間関係形成	B 道徳教育・特別活動の充実(同学年交流、異学年交流、体験活動を重視し、グループエンカウンター、ソーシャルスキルトレーニング、ピア・サポート活動、ストレスマネジメント教育等を取り入れる) C 「集団に慣れ、めあてを共有する」	「互いの違いを認め、協働する」	「集団において他者を尊重する」 職場体験等による進路啓発を充実させる	「社会の一員としての自覚をもつ」 進路選択能力を高める	
	家庭地域	D 基本的生活習慣の定着 放課後児童クラブ等との連携協力	保護者との信頼関係づくり 親子関係や家庭での育ちへの配慮	インターネット適正利用の促進 地域での友人関係への配慮	社会体験活動や地域行事等への参加促進	
II 初期対応	校種間連携	E 保幼小接続	個に応じたきめ細かな配慮 ・個別的教育支援計画を活用	小小連携・小中連携	中高連携	進路先への接続
	兆候が見られる子どもに	個別対応の必要性の検討 (状況に応じて、早めの家庭訪問や保護者面談、専門スタッフや関係機関との早期連携を図る) 「状況シート」の活用 (累積欠席5日以上で作成し、きつかけや状況の把握等、教職員間での情報共有を図る)				
III 自立支援	欠席が見られる子どもに	早期発見・早期対応 「小学校6年間で欠席30日以上 <sup>(※1)</sup> 」 の生徒への対応 ※1、※2の生徒は、累積欠席日数が30日以上以上の長期欠席者となる可能性が高いことから、 年度当初からの留意が必要 「小学校、中学校で不登校を経験 <sup>(※2)</sup> 」 した生徒への対応				
	個別の対応	ケース会議(アセスメントとプランニング) → チーム支援 支援の流れ: 情報収集 → 不登校の状況等のアセスメント(見立て) → 指導・支援計画等のプランニング(役割分担等) → 実践 → 指導・支援についての評価と改善 「本人へのスモールステップ支援」 ①緊張や不安を和らげる → ②心を安定させる → ③やる気を回復させる → ④自立を支える ※一人ひとりの状況に応じて、適応指導教室、フリースクール等の民間施設、ICTを活用した学習支援 など、多様な教育機会を確保 「家庭への適切な支援」 計画的な面談や家庭訪問、電話や手紙等によるメッセージ、心理的サポート、福祉のアプローチ、保護者同士のネットワークづくりへの支援 進学相談、進路相談、進路相談(中途退学者含む) スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、心のパートナー、ライフパートナー、ハローワーク・ジョブステーション、若者サポートステーション 教育支援センター(適応指導教室)、体学者や中途退学者とつながり、定着型・通学型やフリースクールとの連携、高等学校卒業後就職支援試験の活用 等 教育総合研究所、特別支援教育センター、こども教育センター、児童相談所、ホッとサポートふくい(精神保健福祉相談)、スクラム福井(発達障害児者支援センター)				

※児童生徒の社会的スキルを段階的に育て、児童生徒同士が互いに支え合う関係を作るためのプログラム

### ②専門スタッフや関係機関（福井県不登校対策指針より）

児童生徒が主体的に社会的自立や学校復帰に向かうよう、適応指導教室等と連携した学習支援など、長期的な展望をもって支援することが必要です。学校のみでの対応が困難な場合には、医療・福祉等の関係機関や教育総合研究所「学習サポートチーム」等にケース会議への参加を依頼し、家庭への支援を含め、適切な対応を協議するとともに、学校と関係機関のネットワークによる支援を系統的・継続的に行うことが大切です。



休養の必要性など、児童生徒の状況を見極め、ケースに応じた関わり方をもつことが重要です。

### ③詳細

#### (7) ひきこもりについて

##### ①関係機関

・福井県ひきこもり地域支援センター

<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/soudansyo/hikikomori/hikikomorisienn.html>

・福井県ひきこもり不登校支援情報サイト

<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/soudansyo/hikikomori/hikikomoriyouhousite.html>

## 5. その他のサービスや相談窓口について

### (1) 障害福祉サービス

相談支援  
必要

・18歳未満でも受けられる障害福祉サービスは以下の5つ。

#### ① 居宅介護（ホームヘルプ）

内容	自宅で、入浴、排せつ、食事の介護等を行う。目的により、身体介護、通院等介助、家事援助などがある
対象	障害支援区分が区分1以上に相当する心身の状態である児童
備考	

#### ② 短期入所（ショートステイ）

内容	短期間、夜間も含め施設で入浴、排せつ、食事の介護等を行う
対象	自宅で介護を行う人が病気等により、施設への短期間の入所を必要とする児童
備考	

#### ③ 同行援護

内容	外出時において同行し、移動に必要な情報の提供、移動の援護等を行う
対象	視覚障害により移動に著しい困難がある児童
備考	

#### ④ 行動援護

内容	外出時において同行し、移動に必要な情報の提供、移動の援護等を行う
対象	障害支援区分が3以上であり、行動に関する項目が基準以上の児童
備考	

#### ⑤ 就労移行支援

内容	就労を希望する人に、一定の期間における生産活動やその他の活動の機会の提供、知識や能力の向上のための訓練を行う。
対象	
備考	

・原則18歳以降しか受けられないサービス

#### ① 重度訪問介護

内容	重度の障がいがあり常に介護が必要な人に、自宅で入浴や排せつ、食事などの介助や外出時の移動の補助を行う。
対象	

備考	
----	--

② 重度障がい者等包括支援	
内容	常に介護が必要な人の中でも介護が必要な程度が非常に高いと認められた人には、居住介護などの障がい福祉サービスを包括的に提供します。
対象	
備考	

③ 自立生活援助	
内容	一人暮らしに必要な理解力や生活力を補うために、定期的な巡回訪問や随時の対応等により、適時のタイミングで適切な支援を行う。
対象	
備考	

④ 生活介護	
内容	常に介護が必要な人に、施設で入浴や排せつ、食事の介護や創作的活動などの機会を提供する。
対象	
備考	

⑤ 療養介護	
内容	医療が必要な障がい者で常に介護が必要な人に、医療機関で機能訓練や療養上の管理、看護、介護や世話をを行う。
対象	
備考	

⑥ 自立訓練	
内容	自立した日常生活や社会生活ができるよう、一定の期間における身体機能や生活能力向上のために必要な訓練を行う。
対象	
備考	

⑦ 就労継続支援 A 型	
内容	通常の事業所で働くことが困難な人に、就労の機会の提供や生産活動その他の活動の

	機会の提供、知識や能力の向上のための訓練を行う。
対象	
備考	

#### ⑧ 就労継続支援 B 型

内容	通常の事業所で働くことが困難な人に、就労の機会の提供や生産活動その他の活動の機会の提供、知識や能力の向上のための訓練を行う。
対象	
備考	

#### ⑧ 就労定着支援

内容	生活介護、自立訓練、就労移行支援又は就労継続支援を利用して一般就労した障がい者に対して、就労に伴う生活面の課題に対し、就労の継続を図るための連絡調整や指導・助言等を行う。
対象	
備考	

#### ⑨ 施設入所支援

内容	障がい者支援施設に入所する人に、入浴や排せつ、食事の介護などを行う。
対象	障害支援区分4以上の認定がある方
備考	

#### ⑩ 共同生活援助（グループホーム）

内容	夜間や休日、共同生活を営む住居で、相談、入浴、排せつ又は食事の介護、その他の日常生活上の援助を行う。
対象	
備考	

### (2) 地域生活支援事業

相談支援  
不要

#### ① 日中一時支援

内容	施設において日常生活の場の提供や自宅等からの送迎、社会に適応するための日常的な訓練を行う
対象	発達支援が必要で、日中において保護する者がいないこと等により一時的に見守り等の支援や活動の場が必要な児童
留意事項	・利用料が別途発生。
HP	

## ② 地域活動支援センター

内容	障がいのある方の社会との交流の促進など日中の活動を支援する。通所による創作的活動やレクリエーション活動の機会を提供する
対象	各種手帳、自立支援医療、特別児童扶養手当、医師の診断書・意見書等がある児童
備考	
HP	<a href="http://www.city.fukui.lg.jp/fukusi/sfukusi/service/tiikikatudousiennsennta.html">http://www.city.fukui.lg.jp/fukusi/sfukusi/service/tiikikatudousiennsennta.html</a>

## ③ 移動支援

内容	地域における自立生活及び社会参加を促すため、屋外での移動が困難な方について外出のための支援を行う
対象	各種手帳、自立支援医療、特別児童扶養手当、医師の診断書・意見書等がある児童
備考	・原則として、通勤・通学による利用は除く。
HP	

## ④ 訪問入浴サービス

内容	訪問による入浴サービスを提供し、障がい者の身体の清潔の保持、心身機能の維持等を行う
対象	日常生活を営むのに著しく支障があり、入浴に係る日常生活動作に全介助を必要とし、本事業の利用を図らなければ入浴が困難な在宅の児童で、居宅介護等での入浴が困難な場合
備考	
HP	<a href="http://www.city.fukui.lg.jp/fukusi/sfukusi/service/shougaisabisu_d/fil/houmonnyuuyoku.pdf">http://www.city.fukui.lg.jp/fukusi/sfukusi/service/shougaisabisu_d/fil/houmonnyuuyoku.pdf</a>

## ⑤ 補装具

内容	身体の失われた部位や障がいのある部分を補って、日常生活や働くことを容易にする用具を交付（修理）する。
対象	戦傷病者、身体障がい者（該当する障害区分の方）、難病患者等

備考	
HP	<a href="http://www.city.fukui.lg.jp/fukusi/sfukusi/seido/hosougu.html">http://www.city.fukui.lg.jp/fukusi/sfukusi/seido/hosougu.html</a>

#### ⑤ 日常生活用具

内容	在宅の重度障がい者の日常生活がより円滑に行なわれるよう、日常生活用具の給付を行う。
対象	身体障がい者、知的障がい者（下表の障害区分と程度の方）、難病患者等
備考	
HP	<a href="http://www.city.fukui.lg.jp/fukusi/sfukusi/seido/hosougu.html">http://www.city.fukui.lg.jp/fukusi/sfukusi/seido/hosougu.html</a>

#### (3) 手帳（身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者福祉手帳）

種類	区分	対象要件・支給額
身体障害者手帳	I級～6級	①視覚障害②聴覚又は平衡機能の障害③音声機能、言語機能又は咀嚼機能の障害④肢体不自由⑤心臓、腎臓または呼吸器の障害の方
療育手帳	A1（最重度）、A1、A2、B1、B2	心身の発達、日常の生活・行動、知的能力、社会性などさまざまな点から診断し、知的障がい児（者）と判定された方等
精神障害者福祉手帳	I～3級	統合失調症、精神作用物質による急性中毒又はその依存症、知的障害、精神病質その他の精神疾患を有する方

#### (4) 各種手当（特別児童扶養手当、障害児福祉手当、重症心身障害児（者）福祉手当）

種類	区分	対象要件・支給額
特別児童扶養手当	I級、2級	・20歳未満の精神または身体に中程度以上の障がいがあると認定された児童を監護する保護者 ・I級：52,500 円、2級：34,970 円
障害児福祉手当		
重症心身障害児（者）福祉手当		

#### (5) 各種医療（こども医療、ひとり親医療、重度医療、自立支援医療、小児慢性特定疾患）

(6) 母子保健(ふくっこ、ことばの教室)

福井市ことばの教室

<http://www.fukuic-shakyo.jp/8f75528be502030e323fad7826a8e3a43dc511c2.pdf>

(7) 子どもを預けたい(一時預かり、病児保育、保育園の入園、ショートステイ、トワイライトステイ、)

・一時預かり

<https://www.hagukumu.net/kodomo/calendar/azuke/p000184.html>

・すみずみ子育てサポート事業

<https://www.hagukumu.net/kodomo/calendar/azuke/p000177.html>

・病児保育事業・病後児保育事業

<https://www.hagukumu.net/kodomo/calendar/azuke/p000169.html>

・ショートステイ・トワイライトステイ

<https://www.hagukumu.net/kodomo/calendar/azuke/p000165.html>

(8) 相談窓口

福井市結婚・子育て応援サイト『はぐくむ.net』より

相談窓口	QRコード
DVの相談窓口 <a href="https://www.hagukumu.net/kodomo/calendar/soudan/p015433.html">https://www.hagukumu.net/kodomo/calendar/soudan/p015433.html</a>	
妊娠・出産・子育ての相談窓口 <a href="https://www.hagukumu.net/kodomo/calendar/soudan/p000885.html">https://www.hagukumu.net/kodomo/calendar/soudan/p000885.html</a>	
子どものための相談窓口 <a href="https://www.hagukumu.net/kodomo/calendar/soudan/p000886.html">https://www.hagukumu.net/kodomo/calendar/soudan/p000886.html</a>	
発達に遅れがあるお子さんの相談窓口 <a href="https://www.hagukumu.net/kodomo/calendar/soudan/p000888.html">https://www.hagukumu.net/kodomo/calendar/soudan/p000888.html</a>	
障がいがあるお子さんの相談窓口 <a href="https://www.hagukumu.net/kodomo/calendar/soudan/p000281.html">https://www.hagukumu.net/kodomo/calendar/soudan/p000281.html</a>	
子どもの虐待や養育に関する相談窓口 <a href="https://www.hagukumu.net/kodomo/calendar/soudan/p000887.html">https://www.hagukumu.net/kodomo/calendar/soudan/p000887.html</a>	
いじめ・不登校・非行などの相談窓口 <a href="https://www.hagukumu.net/kodomo/calendar/soudan/p000107.html">https://www.hagukumu.net/kodomo/calendar/soudan/p000107.html</a>	

その他の相談窓口

・福井市健康管理センター

<https://www.city.fukui.lg.jp/dept/d245/kenkoukanri/index.html>

・妊娠・子育てサポートセンター ふくっこ

<https://www.city.fukui.lg.jp/fukusi/kosodate/ninsin/p020585.html>

・福井市男女共同参画・子ども家庭センター 子育て支援室・相談室

<https://www.fukui-kosodate.jp/index.html>

・よりそい

<https://www.city.fukui.lg.jp/fukusi/tifukusi/seikatu/p024798.html>

・基幹相談支援センター、地区障がい相談支援事業所、発達障がい相談支援事業所

[https://www.city.fukui.lg.jp/fukusi/sfukusi/soudan/soudan\\_d/fil/soudan.pdf](https://www.city.fukui.lg.jp/fukusi/sfukusi/soudan/soudan_d/fil/soudan.pdf)

・スクラム福井

<http://scrum-fukui.com/index.html>

・医療的ケア児

<https://www.city.fukui.lg.jp/fukusi/sfukusi/seido/p022756.html>

・福井県難病支援センター

<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kenkou/siteinannbyou/nanbyoc.html>

・福井県小児慢性特定疾病児童等自立支援相談所

<http://shouman-fukui.jp/index.html>

・福井県総合福祉相談所

<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/soudansyo/>

・ホッとサポートふくい

<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/soudansyo/seisin1.html>

## 6. 18歳以降の支援について

### (1) 障害福祉サービス

①介護給付（居宅介護、生活介護）

②訓練等給付（就労移行支援、就労継続支援A型・B型、就労定着支援等）

③地域生活支援事業（移動支援、日中一時支援、地域活動支援センター）

### (2) 障害年金

・年金事務所 HP

<https://www.nenkin.go.jp/service/riyoushabetsu/disability/index.html>

### (3) 就労に向けた相談窓口

①福井県障がい者雇用に関する相談 HP

<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/rousei/syougaisyasien/soudann.html>

②障害者就業・生活支援センター

<https://www.keichoukai.or.jp/wp-content/uploads/2022/04/37de49799082c5c68f26b7bf4c952969.pdf>

③ハローワーク福井

<https://jsite.mhlw.go.jp/fukui-roudoukyoku/hw/list/fukui.html>

④福井障害者職業センター

<https://www.jeed.go.jp/location/chiiki/fukui/>

⑤ふくい若者サポートステーション

<https://fukui-wss.com/>

福井市 福祉部 福祉事務所 障がい福祉課	
住所	〒910-8511 福井市大手3丁目10番1号 別館1階
電話	0776-20-5435
FAX	0776-20-5407
メール	sfukusi@city.fukui.lg.jp
HP	<a href="http://www.city.fukui.lg.jp/dept/d240/sfukusi/index.html">http://www.city.fukui.lg.jp/dept/d240/sfukusi/index.html</a>